

えほん『おおきくなるっていうことは』

なかがわ ぶん むらかみやすなり え どうしんしゃ
中川ひろたか/文 村上康成/絵 童心社



また1つおおきくなるみなさんへ

みなさんは、まわりの人から「おおきくなったね。」と、言われたことはありますか。おおきくなるって、どういうことなのでしょう。

それは、からだがおおきくなったり、できることがふえたり、じぶんで考えることができたり、おもしろいことを見つけたり、時にはがまんすることもできたり、だれかにやさしくできたりすることではないでしょうか？つまり、心も心もおおきくなっているのです。

みなさんは、今年度1年で、おおきくなったなあと思うことはどんなことがありますか。来年度、また1つお兄さん、お姉さんになったみなさんの活やくするすがたを楽しみにしています。

としよしつ 図書室からのお知らせ

今年度さい後のかし出日は、しゅうりょう式のある3月24日（月）です。春休み前に、たくさん本をかりておいてくださいね。

来年度は、始業式のある4月7日（月）から図書室が開いています。

春休み前にかりた本は、4月11日（金）までに返しましょう。

来年度もたくさん図書室に本をかりにきてくれることを楽しみにまっています。

やわたりしりつ やわたりしょうがっこうとしよしつ
八幡市立八幡小学校図書室

ほんのおたより

ねんせい ねんせいよう
（1年生～3年生用）



れいわ ねん がつ にち
令和7年3月11日最終号

さい後にもう1さつ読んでみて！

もうすぐ今年度が終わりますね。図書室の本をたくさん読むことができましたか。自分の好きな本は見つかりましたか。

本のおたよりも今年度さい終号です。今の学年のうちに読んでみてほしいおすすめの本をしょうかいするので、さい後にもう1さつかりてみませんか。

ぜひ、図書室で本をかりて春休みにゆっくり読んでみてくださいね。

えほん『のんびりやのコアラ』

レイチェル・ブライト/文 ジム・フィールド/絵 安藤サクラ/訳 トゥーヴァージンズ

ゆうきを出して、いっぽふみ出してみよう！

コアラのケ빈は、動物のなかまから遊びにさそわれても、木にぎゅっとつかまって動こうとしません。なぜなら、ケ빈はこわがりやで、いつもとちがうことをするのがこわかったからです。だから、いつも同じ毎日をくり返していました。

しかし、ある日、思いがけない出来事がおきて、木からおりることができました。すると、体が軽くなって、生まれかわったように気持ちがウキウキして、ゆう気がわいてきました。さあ、今まで行かなかった新しいせかいへのぼうけんの始まりです。



えほん『ふつうじゃない庭をつくった男の子』

サム・ボウトン/絵と文 青山南となかまたち/訳 カクイチ研究所



はじめりは1つぶの小さなタネ

そうぞう力ゆたかな男の子ジョーの頭のなかは、ふつうとはちがう世界が広がっていました。草木はビルよりも高くのび、いろ色あざやかな花がさき、どこにもいないような生き物が町を歩きまわり、空をとんでいるのです。ジョーは、毎日そんな世界になったらいいなあとおもっていました。

すると、ある夜、読んでいた本にすてきなものをみつけました。そのすてきなものはじめりは、小さなタネでした。ジョーは、タネを見つけると、すぐに土に植えました。そして、待ちました…。さて、その小さなタネからどんなことが起きるのでしょうか。

えほん『おなかをすかせたドラゴンとためいきゼリー』

仁科幸子/作 あすなろ書房

ほんとうの幸せってなんだろう？

あるネコの住むまちに、ビンの中にためいきを集めたいという黒ネコがあらわれました。そして、まちのネコたちがビンにためいきをはくと、ハッピーになれる水アメをくれると言うのです。まちのネコたちは、いかりや、さみしき、ぜつぼうの気持ちの入ったためいきをはき、水アメをもらうと、目をかがやかせて幸せそうに帰っていきます。黒ネコがためいきを集めるのには、理由がありました。黒ネコの家には、ドラゴンが住んでいて、ためいきがまざったゼリーを食べるため、黒ネコはドラゴンがおなかをすかせないように、ためいきを集めたかったからです。

しかも、このドラゴンは、ためいきのマイナスなエネルギーをすって、ハッピーエネルギーに変えることができるというラッキードラゴンでした。しかし、このハッピーエネルギーには、悪いところもあって…。



ものがたり『わらうきいろおに』 梨屋アリエ/作 こがしわかおり/絵 講談社

自分を大切にしよう



ひとりぼっちのきいろオニは、ある日、人間の住む町に行くことにしました。町から子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきたので行ってみると、そこは学校でした。しかし、学校の子供達に、「オニなのになんできいろいの。」「オニは赤か青にきまってる。」と、言われてしまい、悲しくなりました。でも、ないてしまうと、子どもたちとなかよくなれないと思い、なくのをがまんして、わらってみせました。すると、おなかが、たぷたぷとふくれていくのです。どうやら、がまんしていたなみだが、おなかにたまってしまったようです。

きいろオニがこまっていた時に出会ったのは、ピンクの水玉もよりのオニでした。そのオニは、自分がふつうでないことに自しんを持っているようで、きいろオニの心もかえてくれたのです…。

ものがたり『どんなイチゴも、みんなかわいい』

葦原かも/作 中田いくみ/絵 童心社

わたしは、わたしのままでいい

フクロウやミミズクが大すきで、想ぞう力ゆたかな3年生の女の子アヤは、自分に自しんがなくて、目立つことは苦手です。

ある日、通学路にある畑に生えている草にジュズダマの実がなっているのを見つけました。そのジュズダマを家に持ち帰り、ながめていると、耳に入りそうだなと思いました。入れてみると、ぴったりとおさまって、取ろうとしても動かなくなってしまうしました。ジュズダマが耳に入ってから、アヤは、なぜだかいつもよりゆう気が出るのです。

とべなかったとび箱がとべるようになったり、クラスでえんじるげきのミミズク役に立こうほしたりして、少しずつ自しんもついてきたようです。

その後も、クラスでそう作ダンスをしたり、図書室で図かんを読んだり、学校の中でちょっとぼうけんしたりするなかで、アヤが少しずつせい長していく物語です。なんと、しょうらいのゆめも見つかったようですよ。

